

序章	長期構想委員会の概要
第1章	港湾及び背後地域の現況
第2章	目指すべき方向性
第3章	港湾への要請と課題
第4章	境港が今後担うべき役割
第5章	境港の長期構想における施策の展開方向

境港の長期構想における施策の展開方向

長期戦略の展開方向

物流・産業

- 【将来像】北東アジアとのゲートウェイとなる中国地方日本海側拠点港湾
- 目標1 北東アジアとの国際定期航路(コンテナ・フェリー)サービスの充実による北東アジアゲートウェイ機能の形成
- 目標2 背後圏の産業活動を支え、地域の発展に寄与する港湾の形成

戦略 1

中国地方の国際競争力強化に資する日本海側国際海上コンテナ輸送拠点機能の拡張

戦略 2

背後圏産業を支えるバルク輸送拠点機能の再編

戦略 3

外内貿フェリー・RORO輸送拠点機能の集約

人流・賑わい

- 【将来像】魅力ある山陰観光と連携した交流拠点港湾
- 目標3 背後圏と連携したクルーズ拠点、観光客や市民が親しめる親水空間・賑わい空間の形成
- 目標4 レクリエーションやマリンスポーツの振興に寄与する港湾の形成

戦略 4

中海・宍道湖・大山圏域観光を支える海上アクセス拠点機能の強化

戦略 5

豊かな自然環境を活用したレクリエーション・マリンスポーツ拠点機能の強化

安全・安心

- 【将来像】国土の強靱化を支える境港
- 目標5 市民生活や背後圏企業のBCPを支える港湾の形成
- 目標6 中国地方の広域バックアップ機能を担う港湾の形成

戦略 6

国土の強靱化を支える港湾機能の強化

環境

- 【将来像】豊かな自然環境と共存し、環境関連産業を支える港湾
- 目標7 豊かな自然環境と共存し、地域の魅力向上に寄与する港湾の形成
- 目標8 持続可能な循環型社会を支える環境先進港湾の形成

戦略 7

リサイクル産業や再生可能エネルギー産業を支え、自然環境の保全・再生を推進する環境先進港湾機能の強化

境港の長期構想における施策の展開方向

戦略 1 中国地方の国際競争力強化に資する日本海側国際海上コンテナ輸送拠点機能の拡張

①海面処分用地埋立による岸壁の確保

- ・岸壁水深(-14m)の確保
- ・コンテナヤードの確保
- ・老朽化した荷役機械等の更新
- ・ガントリークレーン、リーファー電源の増設

②埠頭の再編

- ・コンテナ、バルク貨物の棲み分け

③円滑な道路交通網の確保

- ・人流・物流の増加に対応

④新規航路・泊地の確保

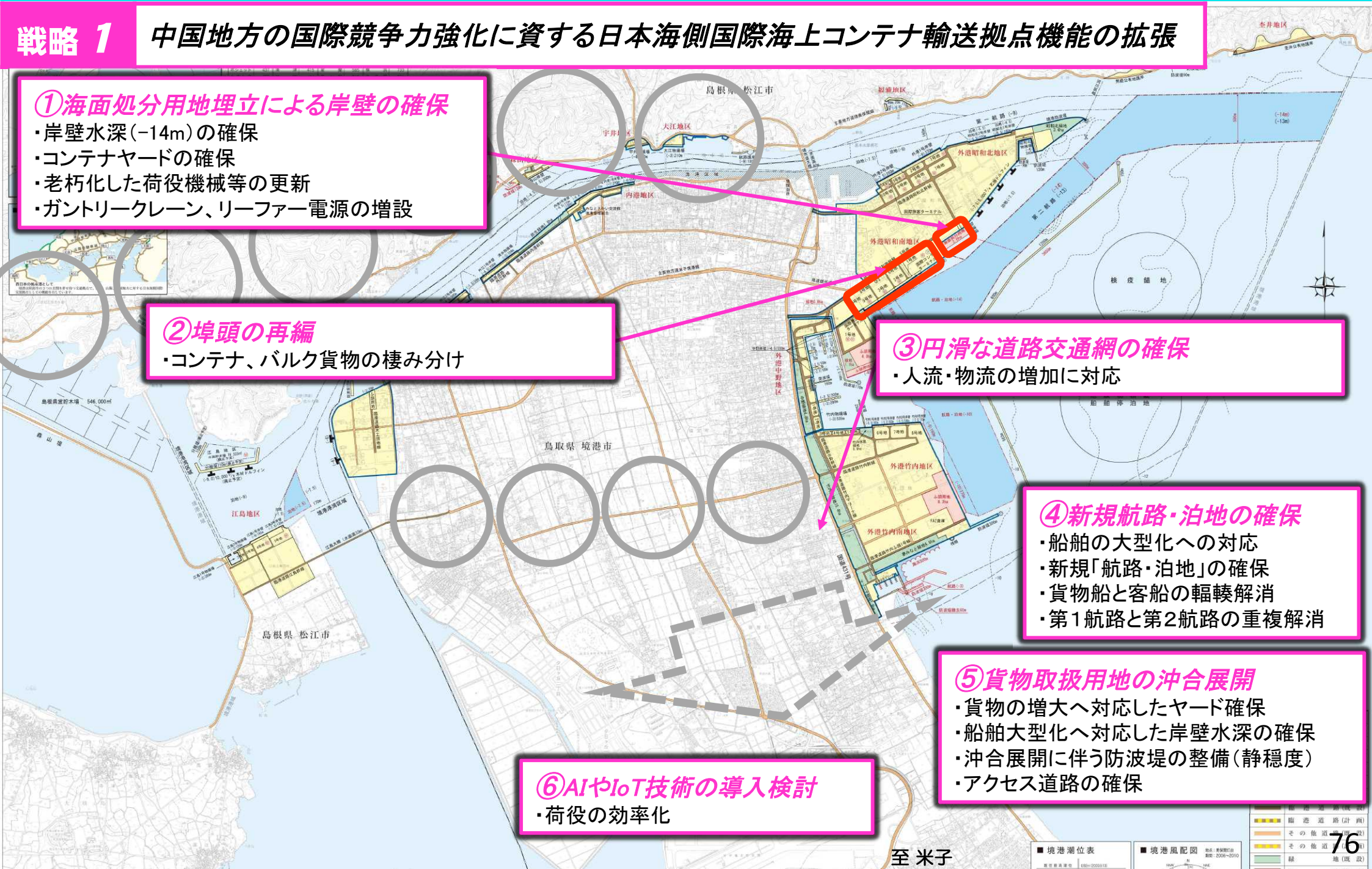
- ・船舶の大型化への対応
- ・新規「航路・泊地」の確保
- ・貨物船と客船の輻輳解消
- ・第1航路と第2航路の重複解消

⑤貨物取扱用地の沖合展開

- ・貨物の増大へ対応したヤード確保
- ・船舶大型化へ対応した岸壁水深の確保
- ・沖合展開に伴う防波堤の整備(静穏度)
- ・アクセス道路の確保

⑥AIやIoT技術の導入検討

- ・荷役の効率化



境港の長期構想における施策の展開方向

戦略 2

背後圏産業を支えるバルク輸送拠点機能の再編

①埠頭の再編

- ・バルク貨物取扱の棲み分け
(原木、木材チップ、金属くず、PKS等)

②船舶の大型化への対応

- ・岸壁及び泊地の増深
(-7.5m→-9.0m)

③円滑な道路交通網の確保

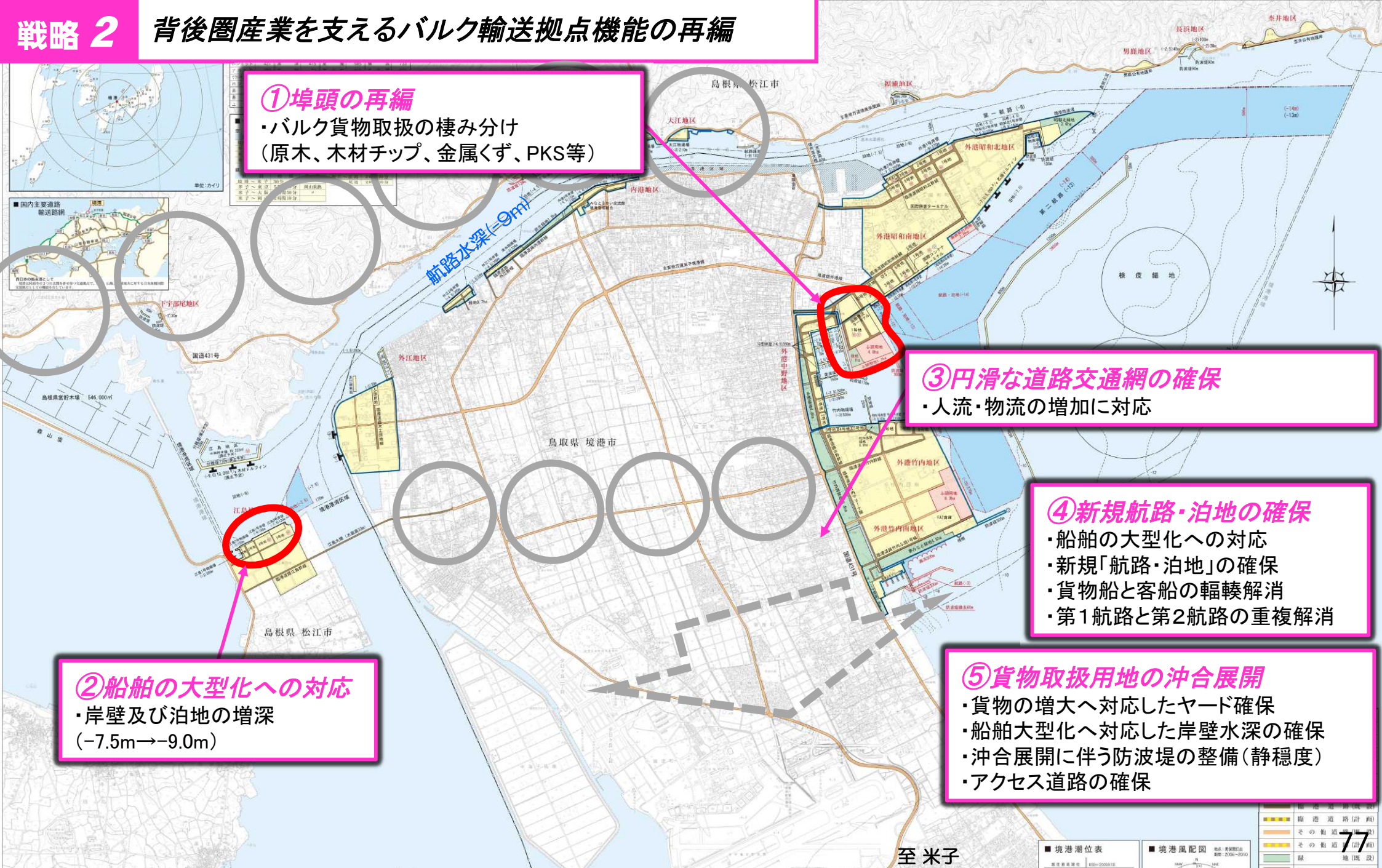
- ・人流・物流の増加に対応

④新規航路・泊地の確保

- ・船舶の大型化への対応
- ・新規「航路・泊地」の確保
- ・貨物船と客船の輻輳解消
- ・第1航路と第2航路の重複解消

⑤貨物取扱用地の沖合展開

- ・貨物の増大へ対応したヤード確保
- ・船舶大型化へ対応した岸壁水深の確保
- ・沖合展開に伴う防波堤の整備(静穏度)
- ・アクセス道路の確保



境港の長期構想における施策の展開方向

戦略 3 外内貿フェリー・RORO輸送拠点機能の集約

■各都市へのアクセス

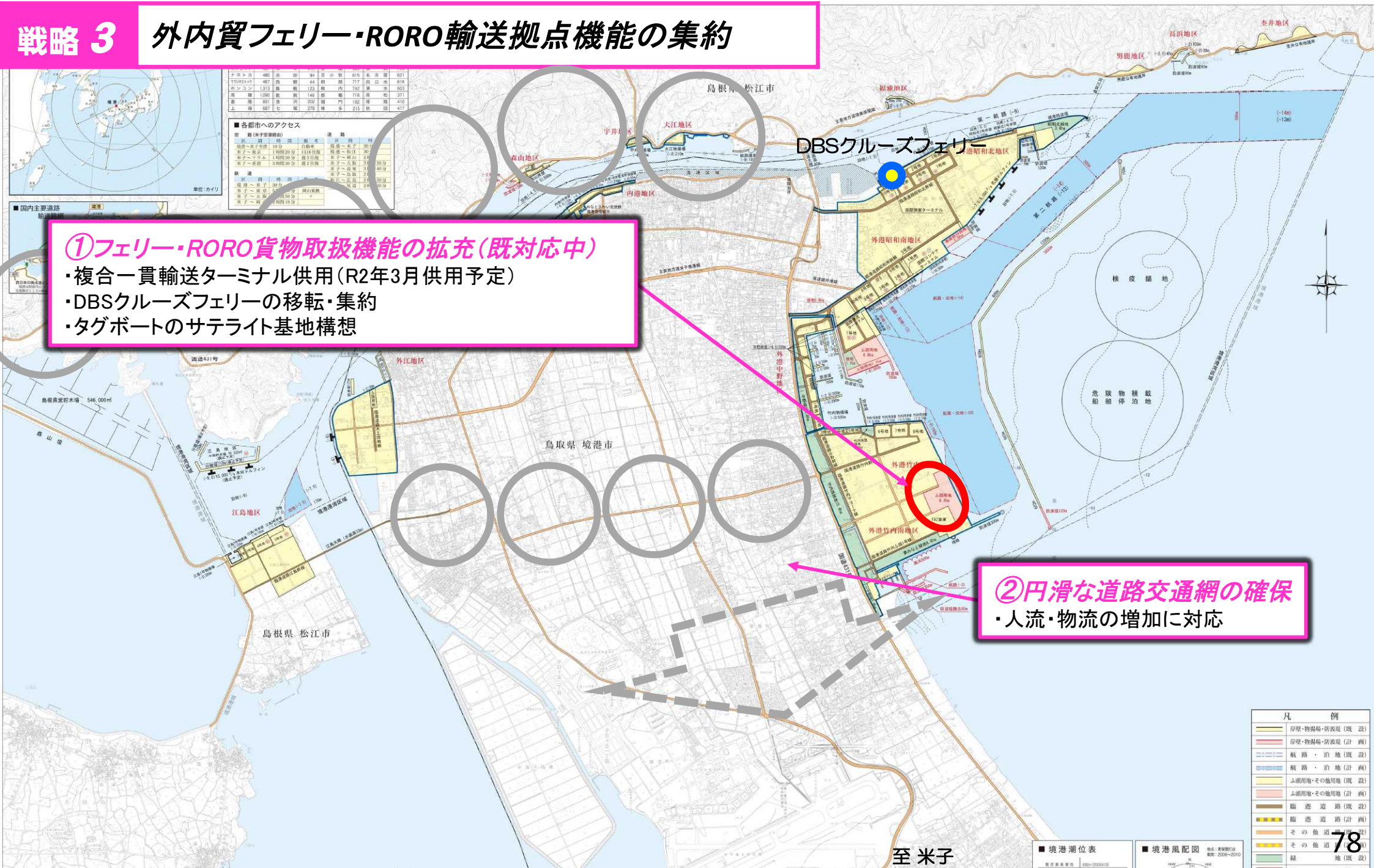
路線(乗り交差線種別)	区間	所要時間	運賃
空路(乗り交差線種別)	境港～東京(羽田)	約1時間30分	約10,000円
	境港～大阪(伊丹)	約1時間30分	約8,000円
	境港～名古屋(中部国際)	約1時間30分	約7,000円
	境港～福岡(福岡)	約2時間	約9,000円
海路	境港～東京(東京)	約2日	約10,000円
	境港～大阪(大阪)	約2日	約8,000円
	境港～名古屋(名古屋)	約2日	約7,000円
	境港～福岡(福岡)	約2日	約9,000円

①フェリー・RORO貨物取扱機能の拡充(既対応中)

- ・複合一貫輸送ターミナル供用(R2年3月供用予定)
- ・DBSクルーズフェリーの移転・集約
- ・タグボートのサテライト基地構想

②円滑な道路交通網の確保

- ・人流・物流の増加に対応



凡 例

	岸壁・物揚場・防波堤(既設)
	岸壁・物揚場・防波堤(計画)
	航路・泊地(既設)
	航路・泊地(計画)
	ふ頭用地・その他用地(既設)
	ふ頭用地・その他用地(計画)
	臨港道路(既設)
	臨港道路(計画)
	その他道路(既設)
	その他道路(計画)
	緑地(既設)
	緑地(計画)

境港の長期構想における施策の展開方向

戦略 4

中海・宍道湖・大山圏域観光を支える海上アクセス拠点機能の強化

①貨客船ターミナル(R2年春供用予定)を活用した情報発信

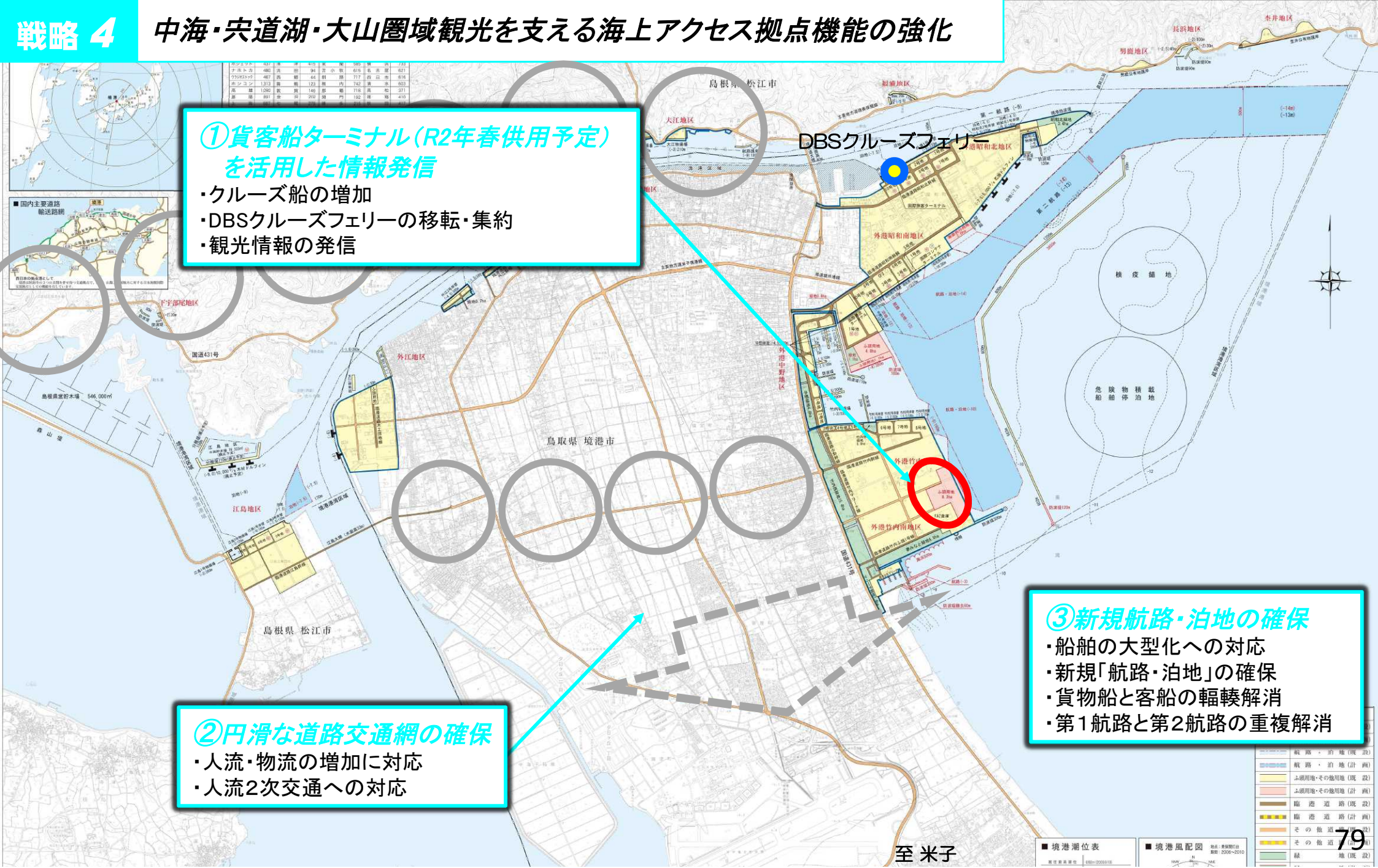
- ・クルーズ船の増加
- ・DBSクルーズフェリーの移転・集約
- ・観光情報の発信

②円滑な道路交通網の確保

- ・人流・物流の増加に対応
- ・人流2次交通への対応

③新規航路・泊地の確保

- ・船舶の大型化への対応
- ・新規「航路・泊地」の確保
- ・貨物船と客船の輻輳解消
- ・第1航路と第2航路の重複解消



境港の長期構想における施策の展開方向

戦略 5

豊かな自然環境を活用したレクリエーション・マリンスポーツ拠点機能の強化



④貯木場の跡地利用

- ・中海周遊クルーズ等、海洋性レクリエーションに資する需要の発掘
- ・カヌー、シーカヤックやSUP等のマリンスポーツ会場としての活用

①マリーナの沖合展開

- ・プレジャーボート保管機能(水面/陸置)の強化
- ・艇種別利用形態を考慮した配置計画
- ・老朽化した管理棟の建替え、移転
- ・マリーナ港口の堆砂解消

②海浜の造成

- ・親水性のある海浜確保
- ・沖合展開も睨んだ魚釣り施設の整備

③弓ヶ浜サイクリングコースの整備 (R2年3月全線供用予定)

- ・貨客船ターミナルの供用開始に併せて、境港から皆生までの海岸線を走るルートが完成(全長約16km)
- ・竹内西緑地に遊歩道等の整備
- ・マリーナと共用利用可能な施設の整備



凡 例	
	岸壁・物揚場・防波堤(既設)
	岸壁・物揚場・防波堤(計画)
	航路・泊地(既設)
	航路・泊地(計画)
	ふ頭用地・その他用地(既設)
	ふ頭用地・その他用地(計画)
	臨港道路(既設)
	臨港道路(計画)
	その他道路(既設)
	その他道路(計画)
	緑地(既設)
	緑地(計画)

■ 境港潮位表
■ 境港風配図
80

境港の長期構想における施策の展開方向

戦略 6

国土の強靱化を支える港湾機能の強化

港

①コンテナターミナルの拡張

- ・大規模災害時における港湾機能の早期回復
- ・コンテナ貨物増大に対応できる新規バースの整備
- ・災害時対応に備えた耐震強化岸壁(幹線貨物輸送)

④燃油供給機能の確保

- ・石油製品の早期出荷
(東西オイルターミナル境港油槽所)

②耐震強化岸壁の整備 (既対応済)

- ・災害時対応に備えた耐震強化岸壁
(緊急物資輸送)(整備済み)

③災害時輸送網の確保

- ・広域輸送及びリダンダンシーの確保

⑥AIやIoT, ICT技術の導入検討

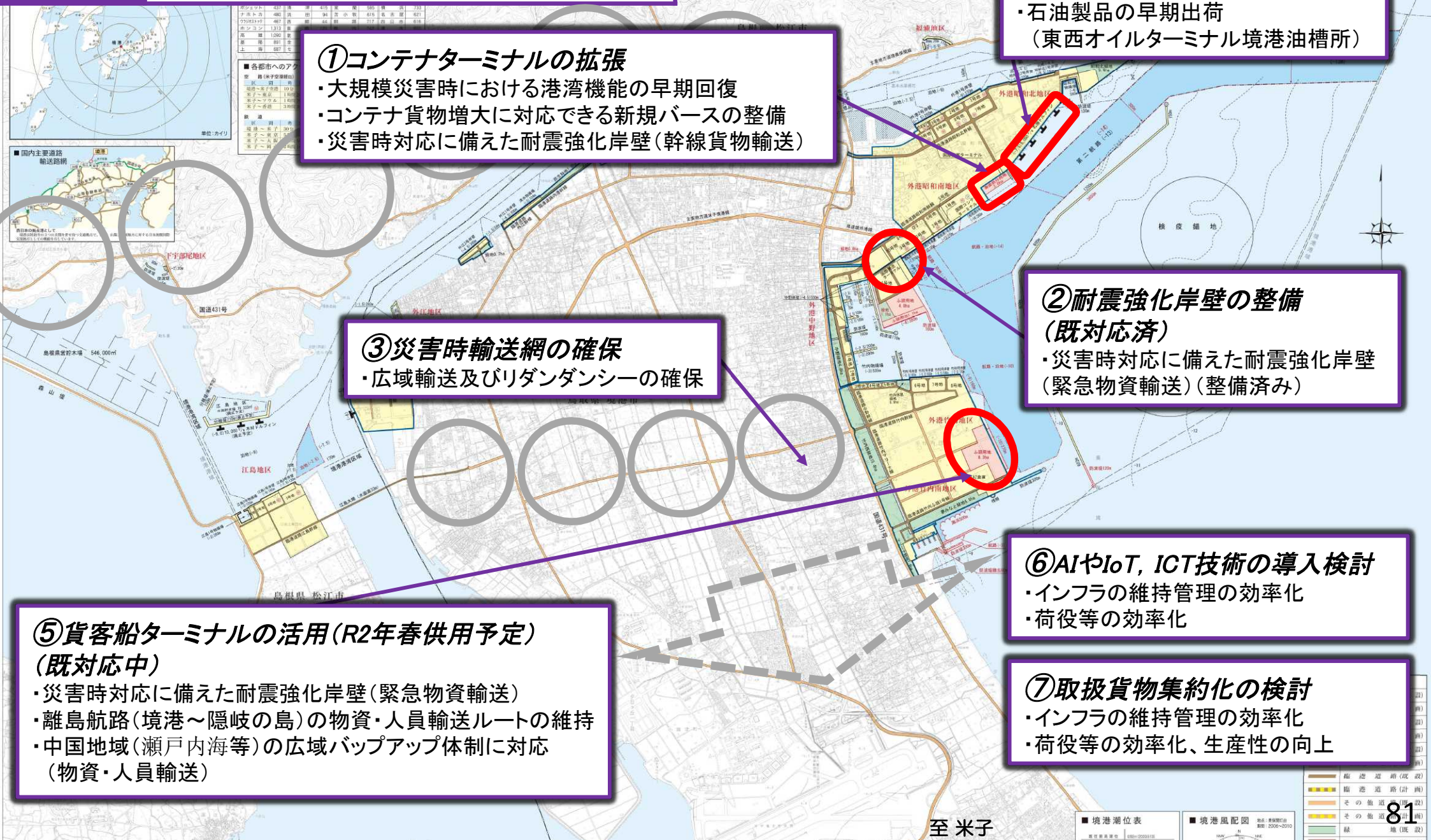
- ・インフラの維持管理の効率化
- ・荷役等の効率化

⑤貨客船ターミナルの活用(R2年春供用予定) (既対応中)

- ・災害時対応に備えた耐震強化岸壁(緊急物資輸送)
- ・離島航路(境港～隠岐の島)の物資・人員輸送ルート維持
- ・中国地域(瀬戸内海等)の広域バップアップ体制に対応
(物資・人員輸送)

⑦取扱貨物集約化の検討

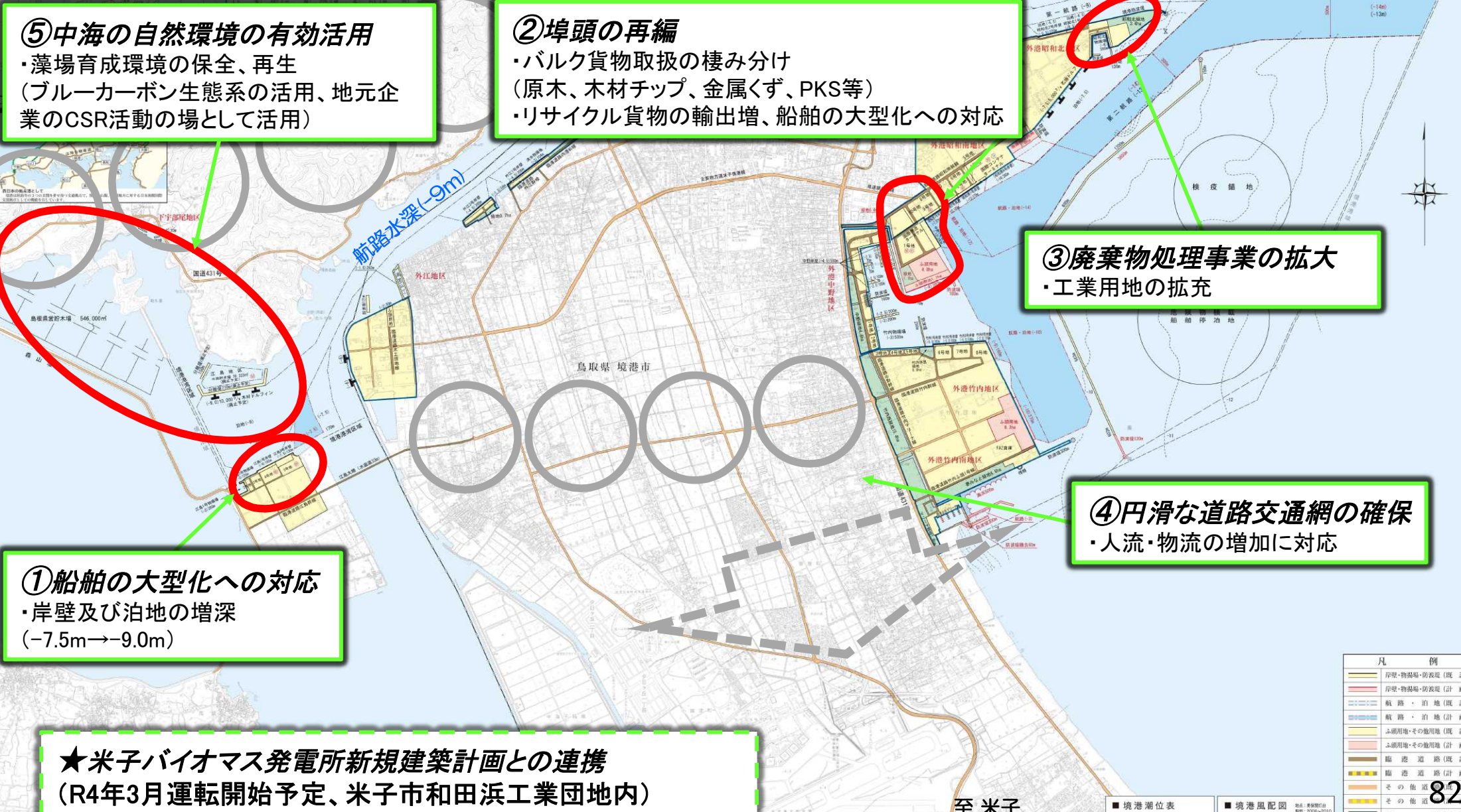
- ・インフラの維持管理の効率化
- ・荷役等の効率化、生産性の向上



境港の長期構想における施策の展開方向

戦略 7

リサイクル産業や再生可能エネルギー産業を支え、自然環境の保全・再生を推進する環境先進港湾機能の強化



⑤ 中海の自然環境の有効活用
 ・藻場育成環境の保全、再生
 (ブルーカーボン生態系の活用、地元企業のCSR活動の場として活用)

② 埠頭の再編
 ・バルク貨物取扱の棲み分け
 (原木、木材チップ、金属くず、PKS等)
 ・リサイクル貨物の輸出増、船舶の大型化への対応

③ 廃棄物処理事業の拡大
 ・工業用地の拡充

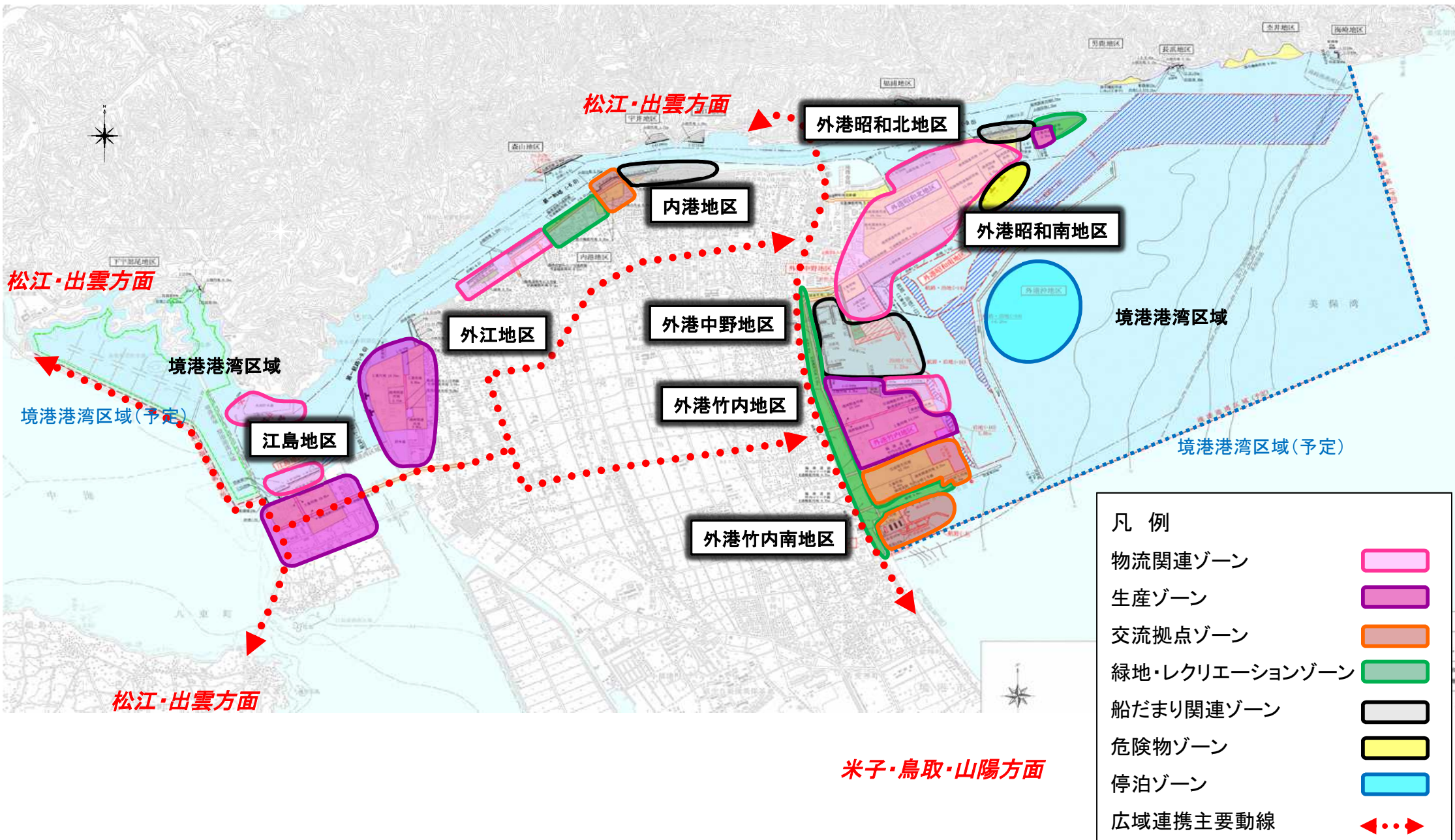
④ 円滑な道路交通網の確保
 ・人流・物流の増加に対応

① 船舶の大型化への対応
 ・岸壁及び泊地の増深
 (-7.5m→-9.0m)

★米子バイオマス発電所新規建築計画との連携
 (R4年3月運転開始予定、米子市和田浜工業団地内)

凡 例	
	岸壁・物揚場・防波堤(既設)
	岸壁・物揚場・防波堤(計画)
	航路・泊地(既設)
	航路・泊地(計画)
	ふ頭用地・その他用地(既設)
	ふ頭用地・その他用地(計画)
	臨港道路(既設)
	臨港道路(計画)
	その他用地(既設)
	その他用地(計画)
	緑地(既設)

現行の利用ゾーニング図



凡例	
物流関連ゾーン	
生産ゾーン	
交流拠点ゾーン	
緑地・レクリエーションゾーン	
船だまり関連ゾーン	
危険物ゾーン	
停泊ゾーン	
広域連携主要動線	

出典：境港港湾計画図(H28.3)、境港港湾計画資料(その1)―改訂―(H17.6)より作成

将来の空間利用ゾーニング図

